

小学校第5学年 音楽科学習指導案

題材名：「曲想の変化を味わおう」

教材群：まっかな秋（歌唱）・威風堂々（鑑賞）・キリマンジャロ（器楽）

教材名：鑑賞曲「威風堂々第1番」

学習内容：（3／7）

授業者：前田 睦子

授業日：10月29日（火）

授業場所：3階 音楽室

【単元計画】（学習活動）

①まっかな秋の歌詞の情景を想像して歌う	⑤キリマンジャロの特徴を見つけ、旋律を演奏する。
②まっかな秋の曲想の変化を生かして歌う。	⑥リズム伴奏によって、旋律を演奏する。
③威風堂々の曲想とその変化を感じ取って聴く。	⑦曲想にあった表現工夫をして、演奏を楽しむ。
④主旋律や伴奏部分に合う楽器を選んで演奏する。	

【教材分析】

「威風堂々第1番」は、はじめ-A-B-A-B-おわり（Aは激しい動き（Bはゆったり）で構成されており、AとBの曲想の違いや変化を感じ取りやすい特徴がある。Bの部分は同じ旋律を繰り返しながら、だんだん強くなり、楽器の数が増えて音の重なりが厚くなることで、曲全体が盛り上がっていることにも気付きやすい。音楽を形作っている要素の働きをとらえ、曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、味わって聴くのに適している。

【生徒の実態】

【関連する指導事項】鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くこと
【鑑賞-(1)-ア】

【本時のねらい】

曲から聴き取った「速さ・旋律・リズム・強弱など」と感じ取った気分や感じ方を基にして、曲や演奏の良さを見出す活動を通して、音楽的な要素と聞いた思いとを結び付けて曲紹介をすることができる。

【汎用性のある学び方】

音楽的な要素を根拠に、自己の感じ方や味わいと結びつけて表出すること。

1 本時の学習曲「威風堂々」を聴き、どんな気分になったか初発の感想を言う。

「威風堂々第1番」の曲の良さとその秘密は何かを見つけて、曲紹介をしよう。

2 学習の見通しをもつ。

「気分や感情」の言葉カード・「音楽の特徴」をあらわす言葉カード・曲の構成表を活用して、もっと詳しく紹介ができるようにする。

3 曲を聴く（初発の感想） 個人追究→対話→個人のまとめ→発表

【手立て1】

「心の中で感じ取ったことを、言葉の表を活用するとどんな言葉になるだろう。」

曲から受ける気分や感じ方の言葉の表現を広げたり、増やしたりするため。

【手立て2】

「音楽活動（口ずさむ・指揮・鍵盤ハーモニカ・手拍子・足踏みなど）を通して、変化していく感じやおもしろさを味わってみよう。」

激しく動くアの部分に対して、ゆったりとした動きのイの部分が印象的で、アとイが繰り返されながら変化していく様子を味わうため。

【手立て3】（深めの発問）

「他の人はこの曲を聴いて、どんなことに気が付いたのだろう。」

他者が気付いたことと、自分が気付いたりイメージしたりしたことと比べることで、音楽的な要素に広がりをもたせるため。

4 本時の学びを踏まえ、「威風堂々第1番」の曲や演奏のよさを紹介できるよう、まとめよう。

5 自己の伸びを確かめる（発表）

この曲は、全体としては、題名のように堂々とした感じのする曲です。「力強い部分」もあり、「ゆったりとした部分」もあります。力強い部分は、兵隊さんが行進しているように縦に音楽を感じることができます。それに対して、ゆったりとした部分は、コマーシャルなどで聴く曲が入っていて、壮大な感じがしてきます。その根拠は、音の重なり方や速度、強弱などの変化によって表現されているからです。

（ホワイトボードの記述）【鑑賞-(1)-ア】

「気分や感情」の言葉（例）

<small>あか</small> 明るい	<small>くら</small> 暗い
うれしい	かなしい
<small>たの</small> 楽しい・おもしろい	こわい
<small>げんき</small> 元気がでる	さみしい
しあわせなきもち	あやしい
<small>こころ</small> 心地よい	ぶきみ
<small>お</small> <small>っ</small> 落ち着く	<small>ふあん</small> 不安
うつくしい	はげしい
ゆったり	いそがしい
<small>ちから</small> だんだん力がわく	<small>ちから</small> だんだん力がぬける
<small>ちからづよ</small> 力強い	<small>よわよわ</small> 弱々しい
<small>こうしん</small> <small>たて</small> 行進・縦に	<small>よこ</small> 横にゆれる
<small>どうどう</small> 堂々とした	<small>おもおも</small> 重々しい

ゆうだい
雄大な

ゆうかん
勇敢な

「音楽の特徴」をあらわす言葉の使い方（例）

共通事項	言葉の使い方（例）
音色	音色の響きが美しい・高音や低音の音色の効果
リズム	はずんだ感じのリズム・スキップのようなリズム・ゆったりしたリズム・細かい音の続くリズム・まとまったリズム・単純なリズム
速度	速度が速い・ゆっくりとした速度・速度変化がある
旋律	音の上り下がりが激しい旋律・音の変化があまりない旋律・ゆるやかな動きの旋律・同じ旋律の繰り返し・スタッカートが入った旋律・なめらかに流れる旋律
強弱	強弱の変化がある・強弱記号がついている・強い部分・弱い部分・だんだん強く・だんだん弱く
拍の流れ	拍の感じが縦ゆれ、横ゆれ 4分の2拍子・4分の3拍子・4分の4拍子
フレーズ	山のような形のフレーズ・細かい山のフレーズ・まとまりのあるフレーズ・ゆるやかな感じのフレーズ
音の重なり	斉唱・二重奏・三重奏・合唱・楽器などの音の重なり
音階や調性	音階ドレミファソラシド・長調と短調 ハ長調・イ短調
和声の響き	ハ長調の和音は、1度・4度・5度・5度の7
反復	ア→イ→アのように反復している・繰り返し ○の旋律が繰り返される
問いと答え	この曲は、問いと答えの形になっている ○○の部分の問いに対して、△△の部分が答え
変化	曲想の変化・速度の変化・調性の変化

	リズムの変化・・・によって
音楽の 縦と横	行進のように縦にはっきりとした音楽 自然に体を横に振るような横の流れの音楽